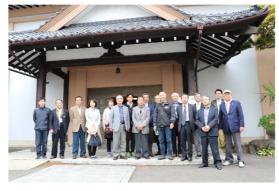
富山教区第12組東北一泊研修

富山教区第12組は、東日本大震災の復興視察研修を、組門徒会・組坊守会と合同で 4月18日・19日に実施しました。参加者は16名。現地の木ノ下秀俊さんに案内をして頂き、大谷派東北別院をスタートに、荒浜小学校震災遺構(仙台市)、大川小学校跡(釜石市)、南三陸町防災対策庁舎・南三陸さんさん商店街。2日目は陸前高田の本稱寺をたずね研修を深めました。



大谷派東北別院にて。木ノ下秀俊さん(前 列右から4人目) に大変お世話になりました。



荒浜小学校震災遺構



津波で破壊された校舎



津波で壊れた二宮金次郎



時計はその時を刻んでいた



津波で破壊された校舎2階教室



校舎屋上に避難した児童と地域住民



荒浜地区のジオラマ。震災前には、学 校周辺に多くの住宅があった。



「復興の様子を見ると共に、地元に帰って何ができるかを考えてほしい。」木ノ下さん(写真右から2人目)の言葉



津波の破壊力を示す写真



住宅は流され、居住禁止地区となる



荒浜の海岸近くに建立された観音像



大川小学校跡地



津波に破壊された校舎



高台からの大川小学校







津波到達地点から見た大川小学校





大川小学校にて



南三陸さんさん商店街にて



南三陸町防災対策庁舎の高さまでかさ上げ



陸前高田市の海詠山本稱寺



「寺院の移転は、できるだけ高く、そして、 皆様に役立つ所に。」(本稱寺住職)



嘆仏偈をあげる。



津波に流された寺表

志津川湾の 夜明け



